

(穂土議員)

Q 高齢者対策は万全か。

A 住民と協力した支援体制を整えていく。
(内田福祉課長)



① 独り暮らし高齢者の安否確認は、「ひとり暮らし高齢者巡回相談事業」の訪問や「ミニ・デイホーム事業」の参加状況、また、配食サービス利用者においては弁当の手渡しなどにより確認を行っている。いずれにしても、今後は住民の方の協力を含めた、新たな見守り体制を検討していく。

② 介護保険法が改正され、予防重視型へ転換することになった。この調整は新たに創設される「地域包括支援センター」で、それぞれの状態に応じた適正な支援体制を実施したいと考えている。

Q ① 独り暮らし老人(713人)の安否確認などの対策はどのような方法を考えているか。

② 寝たきり、虚弱者、痴呆の対策はどうか。



(南田議員)

Q 熊野町の道路行政の今後は。

A 住民の利便性を第一に考え、実現に向けて努力していく。
(平本町長)

A 町外への接続道路については、町民の利便性を高め、住みよいまちづくりには極めて重要なものと認識している。現在、幾つかの構想を持っているが、国などの関連機関との協議調整を行いながら、議会とも相談しつつ実現に向けて努力していく。

Q 熊野町の発展を考えた時、まず道路だと考える。町内においては都市計画道路が示されているが、これ以外に、町長が理想と考える町外への接続道路はどのよう^に構想しているか。

(井上議員)

Q 河川・土砂の浚渫事業対策を。

A 必要箇所の把握もしており順次浚渫を行っている。
(上馬場建設課長)



A 町内の河川で土砂が多く溜まっているところはかなり確認されている。浚渫については地元からの要望も多く、町の管理河川については、順次浚渫を行ってきている状況である。また、県の管理となる熊野川・二河川の二級河川についても要望を取りまとめた上で、担当部署に依頼するようになっている。今後も引き続き護岸改修・修繕などもあわせて要望していきたい。

Q 町内河川には多くの土砂が溜まって浅くなり、危険な地域がかなりあると思われる。水害・土砂災害の面からその対策について問う。

建設部門関連質問